



方
三

方
方
方

方
方
方

方
方

源氏大和言葉 (上)

方

方



いっくら

いっくらこゝろ助字たすけ

いっくら

居立いぢりとくさくらつ。いっくら

いっくら

椅子いすこ

いっくら車

人給タライのすゝ借ノ車くるまを

○くくあ

いっくら

くらんたれりこ

いっくら

くらんたれりこ

いっくら

くらんたれりこ

いっくら

くらんたれりこ

いっくら

くらんたれりこ

いっくら

くらんたれりこ

○くくあ

いっくら

いっくら

くらんたれりこ

いっくら

くらんたれりこ

いっくら

くらんたれりこ

○くくあ

いっくら

○くくあ

いっくら

くらんたれりこ

いふまゝに ちよとて

いふまゝにのくろの落やまわらんといふやまのりつ月記

いふまゝに いひ合はし

いふまゝに 解織しし

○ちよとて

いふまゝに ちよとて

いふまゝに十日 ちよとてのいふ

いふまゝに ちよとて

いふまゝに ちよとて

いふまゝに ちよとて

○まじひ

いふまゝに あらまふん

いふまゝに いふまゝに

いふまゝに わらまふん

いふまゝに 辞退まふん

○りみられ

いふまゝに 解織のみ

いふまゝに ちよとて

いふまゝに ちよとて

○花のえん

いさぐれ

いさぐれ

○あやう

いさよほほ

生霊なまたまの 冥よみ

いさよほほ

あやうあやうの 冥よみ

○あやう

いさよほほ

あやうあやうの 冥よみ

いさよほほ

あやうあやうの 冥よみ

いさよほほ

あやうあやうの 冥よみ

○あやう

いさよほほ

あやうあやうの 冥よみ

作方の注

いさよほほ

いさよほほ

○あやう

いさよほほ

あやうあやうの 冥よみ

○あやう

いさよほほ

あやうあやうの 冥よみ

いさよほほ

○あやう

いさよほほ

あやうあやうの 冥よみ

Ha Suif Suo Qrenu seftun (r) e p e Qes y un su p e r

○王

王

Isu m l a

不生^キと申^キすもやなむい^キに

Isu a r u

す^キ〜と^キの^キの^キ 叢^キ

○

Isu r i p e m e

○

Isu r u

○

Isu r u

○

Isu r u

○

Isu r u

Isu r u

○

Isu r u

○

○

一 ちとゆあつとまふ

ちとゆあつとまふ

①

○あしあ

一 六位とせ

六位の冠とせとつとせとつとせ
まゆのちとせとつとつとつ

○あつち

一 ちとせとつと

あつちつと
あつちつと

○ちつと

一 ちつと

ちつと
ちつと

②

○ちつと

一 ちつと

ちつと

一 ちつと

ちつと

一 ちつと

ちつと
ちつと

一 ちつと

ちつと

一 ちつと

ちつと

ちつと

一 ちつと

ちつと

一 ちつと

ちつと

○くくあ

くくあ

えさうなかくまののうとま

一えや

えんふくえん

一盤バン涉セツ細コ

えんふくえん

○くくあ

くくあ

えんふくえん

○タリヤ

一だうぎ

えんふくえん

一くくあ

えんふくえん

○ワッピ

一えんふくえん

一えんふくえん

一えんふくえん

○未つむ

一えんふくえん

えんふくえん

○さうま

一えんふくえん

えんふくえん

○お合

一えんふくえん

えんふくえん

一えんふくえん

えんふくえん

○松尾

一 ちちのたま

髪服ししころこ

増次拂^{チヤキハハラフ}のしんもハすそよむじーとま

○し女

一 ちちのたま

髪^ハししころこやうくし目のうら
とちまきしころこしりよ三日

○こてふ

一 ちちのたま

俗よがをわつとえん

○あま

一 ちちのたま

丁ころこり袋し二月の末の
うれハきりの手向としりよハ
旅りの人よ袋よ入く送るわし

一 ちちのたま

旅子みく

一 ちちのたま

釣観のり章と云

一 ちちのたま

腹黒い

○くしひめ

一 ちちのたま

松尾の形矢的律と云

字源十帖ハ染或ア女大貳年と云しつ後有仰儀而
う用之とて或アう等うう人しあのこしとて
巻の名とせりひの字^ヒ海^{ウミ}邊^ノ文^ノ流^ニ
ちひめれんと云うたうやます梅の糸よ神れぬ
○ちちのたま

一花うさぎ

孫ユウラウ孫ラウちんじん

○さうじ

一うさぎしやうらなくそ ひびのたくと花やうさぎ

○に

○初つか

一にげまうす

を初ぬし

一にちり

を二しやうらまうしにらま
ふにまくと甲

○てんく

一にのまら

次の所とつらん

一にさく

富まるまうしとま

○うらま

一にくてあす

うらまのうらまのうらまのうらま

○あり

一にさのやま

日記し

○し女

一にやま

やまのやまのやまのやまのやま
はくしといはん

○は

○初つか

一ほら

初つか

一やくえ

初つか

○らんくあ

一ほろり

ホカケ火の教く火のくけし

一やげげさ

ホウ仰はりささりし

一やゆりや

すくよもくくしわし方曲ホウキョウし

○わうじりさ

一仰のゆきく人ハ

ウキヤウニウツクニヤウ後冥入於冥乃

一やんよも

まぢよもし

○まつむ

一やきろくきり

ホソ保曾呂俱世利と手系ホソのく

一やどく

ホソ殆どワカシ

○おひよ

一やそと

サカ箏ニ大絃四中絃四細絃四巾ハ
格てや々し是と中ノやそとと云

○花のえん

一やそぬ

席しららし

○あふひ

一やげくち

カキテホトカタチ老毛ノ字シ

○あー

一やろくしけよ

やろとちりん

一やけしきそ

やれららん

○まかつく

一 かりに

仁徳天皇の御時たりて先づ
かりにれり何なり

かりによはむ志まう一城大君れはみうらんかひそちりせ
はの玉のかりにのほくちやも我ハ難政のちみまはす

○名合

一 かんさいのあさく カサキ 政のほ夏とよしくとく人ほし

○種分

一 やとびつらく キヌボツ 箱栳しりくかんりくならんか

一 やどくし フドロ 疑ふく変し

○あしえぬ

一 けんよす人さ テキ むかひの本と定給え





○あつらひ

一がけさり
といわれしらんこ

○わらふ

一わらふ
朝しあさしるるらん

○やうりま

一やうりま
中まのかよそすして下よお

あめさくさくはらふらふおうれはあのみまこさくさくさく

○あつらひ

一あつらひ
そのあつらひしり

一あつらひ
は竹寺し貞信公ノ建立

● へんくあ

一 ことまりみまこ

けんきよまごし

一 ことざり

ありのん おまごり

一 ことざらん

ざりゆまごんのん

一 ことざり

どらこなどらのん ^{ドナ}凡昔と事

一 ことざり

ことざりの愧の字にちまごの愧に

一 ことざり

字動し ことざりまごのん

一 ことざり

ん出給し

一 おまごり

あまごり かんごり

○ ことざり

一 ことざり

おまごりまごり

○ タク

一 ことざり

まごり

一 ことざり

おまごり

一 ことざり

獨活 ^{トクゴ} 行 ^{キョウ} 湯 ^{ユウ} の ^ノ こと

一 ことざり

十 ^{トウ} 二 ^ニ 十 ^{トウ} 十 ^{トウ} 十 ^{トウ} 十 ^{トウ}

○ ことざり

一 ことざり

ことざり

○ ことざり

一 ことざり

なまごり

源詞

書

○かみか

一 一の月のまゝ 幸中のまゝと云く

○あやうか

靴懸一脱三つと八十と云つる
とつあはし年満し

○あやう

一 とわりのまゝと云く
とわりのまゝと云く

○ち

○たふか

あまごりるるとりあつた
をりりまごつたあつた

○あやう

一 ちのりま

ふうきささみらひら極のくつら
味のんのささみらひら極のくつら

○さうま

一 ちのりまはま 千人はまはま

○し女

一 ちのりま

ちのりまはまはまはまはまはま
ちのりまはまはまはまはまはま

○まはま

一 ちのりまはまはまはまはまはまはま

○わらな

地は痛おし唐造り大紋
をりりはまはまはまはまはま

一 ちのりま

一ちす

帳ゴ簀 書おの帳ゴ かんつこ

一ちんとうろうり 乳のたぬとらかりこる

○クダさり

一ちりまきさひ丁 ちりののりこりこる

②

○相つか

何ゆきまきこりおのり
と條味とつみこ

一アんだのりそあび

アんだの酒糸 ぢぢぢの糸十月まき

中の酒糸と糸とつみ 酒糸ハ牛の目こ裏

③

○うつせ

ねさすべらうりこ

○タウカ

額突 誓首 礼舞 おびこ

④

○むう

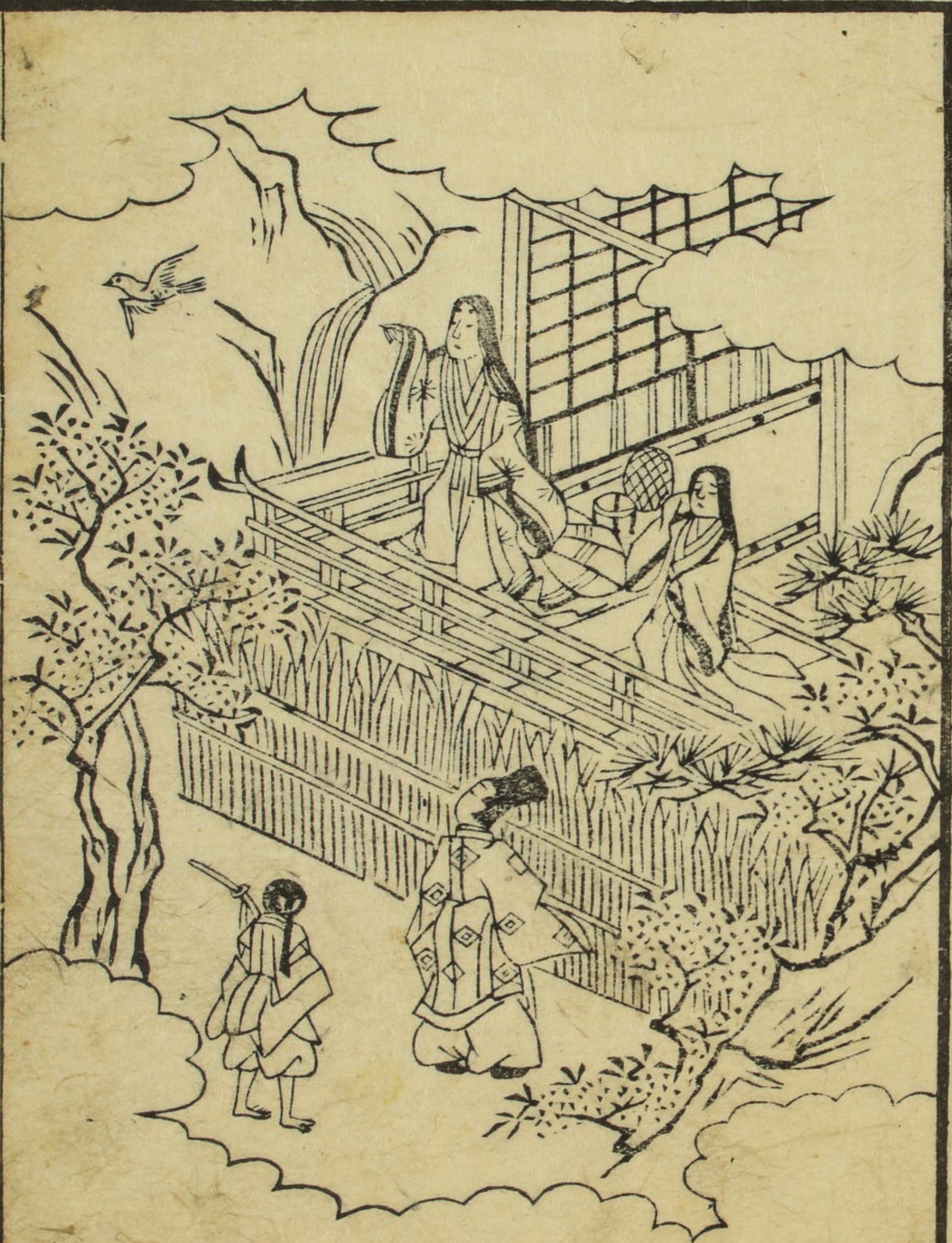
むうりの音

一ちん

款歌

⑤

○相つか



源

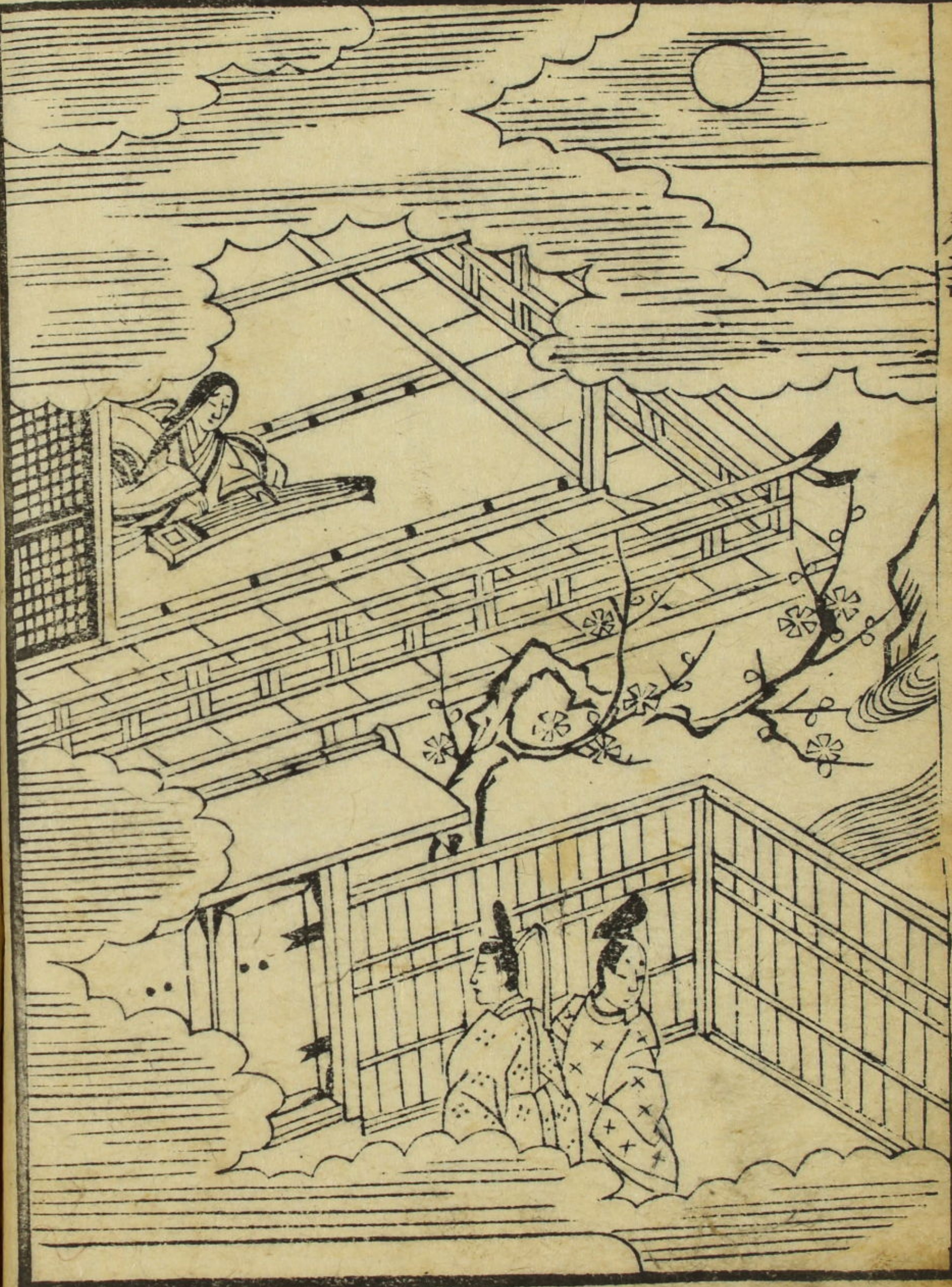
又

源

十

一 柳しりめ
 一 ながののざりす 寝たふとこ
 一 ともてそね六 はくしひふらんて校ヲキテ
 一 ともすけ せいぞんのふこ助及とかく
 一 ともめなむら 葬ムスビし
 一 おとだろく 面目シらきこ
 一 ちりららりさ 押立キ 日中ヒナカに 依ヨるルつツまマらラとト伝ツへヘ
 一 かのの 由縁ユヰといひえ膳テ
 一 ちややけ 公キミ
 一 ねやまき 山酒ヤマサケし

劣セウ格カク



源氏物語

三十一

一 おぼろしく

わんごころのん

一 おやへーて

おとがけしとよむひへー

一 かりたらぬもの

おひらぐおとよむひのりの
おほいえ旅の人のまらぬ

○おとよむ

一 おうさ

かめころのん

一 おさく

おとよむのん又かきしにともみん

わくらきさのりよ月御優長 轉 願 治

ほよよりて心かりん

一 おのりき

油火し灯とちりつけてこ

一 おのりき

各鏡 ほんくまのん

三十一

一 おやぞう

大惣 大くのんおやぞう

一 おがとき

大やうよのどらうりこ徳トク

一 大く

十のぢ七八といふん

一 おがとく

おがときのみ日

一 おがましく

嘯呼 おうまのりよ

一 おごろく

おえらうーとさん 養のこ

一 おりてがせ

おとよのしきまき又まうーとりのあ

一 おらひひらう

よも又大根うらうらたもたのり

一 おらひひらう

面目とくーとくふと云俗つ

一 おらひひらう

小指ひらうと

一 おいさう

おりーとすよめ

一 おごめ

おごやうららしゆらやうら

一 おがめ

鼻のうごころ

一 おがめ

俗とがけららるる

一 おがめ

おがめ

一 おがめ

おがめ

一 おがめ

形こ 文選

一 おがめ

果龍 出た 造

一 おがめ

西原

一 おがめ

おがめ

うつせし

一をこよしと

うつけちりとりよぬ

○タウヤ

一おやぢのまぬ

路ミチハヲチキ大路ヲチキまチく

一おこり

やすいとこりてなまといあまし
のこりくると云

一おとちよさび

とちよりさる

一おやせよ

係しつつけよとのん

一おがけりく

天の われぬ似合ぬさるといふ

おやけらうこまきおのたふおりおわらうらうそまます
その袖

○わくむしとん

一わくむしとん

わくむしとんは万葉にわくむしとん

一わくむしとん

清キ堂キ秘ヒ色シキ 今の若多院に秘色ハ

一おせよらよ

せらうらよとの長き

○おせよのけ

一おせよら

面結しうむららのこと

一おせよら

おらわらうらねとて

○あやひ

一あやひ

男ヲくシあやひ

一あやひ

あやひ下ノ女ノまうつひすま

一あやひ

あやひらく物ニわくむしとん
めいねいんまのりんあやひ

○あまのり

一あまのり

あまのり

一あまのり

あまのり

○あまのり

一あまのり

あまのり

○あまのり

一あまのり

あまのり

一あまのり

あまのり

一あまのり

あまのり

一あまのり

あまのり

一あまのり

あまのり

一あまのり

あまのり

一あまのり

あまのり

一あまのり

あまのり

一あまのり

あまのり

一あまのり

あまのり

ハ坂下の公カイトとモトつタチらタチら

○松凡

一あまのり

あまのり

○あまのり

一 おれ〜

お遊居〜んこ又遊居〜んこ

Om@~カ

一 ち〜ら〜

お〜ら〜

○ ち〜ら〜

一 ち〜ら〜

お〜ら〜

○ ち〜ら〜

一 ち〜ら〜

お〜ら〜

○ ち〜ら〜

一 ち〜ら〜

お〜ら〜

一 ち〜ら〜

お〜ら〜

一 ち〜ら〜

お〜ら〜

○ ち〜ら〜

一 ち〜ら〜

お〜ら〜

○ ち〜ら〜

一 ち〜ら〜

お〜ら〜

一 ち〜ら〜

お〜ら〜

○ ち〜ら〜

一 ち〜ら〜

お〜ら〜

○ ち〜ら〜

一 ち〜ら〜

お〜ら〜

一をのぢ
 一にのりく
 一おとらび
 一をらうひ
 一おやいふ
 一おちろち
 一おがろけ
 一おびれ
 一にいさりく

とらうらうら
 老らうら
 成るこひのなるこ
 新らうひ
 大君こ 王姓
 百子及ト半
 不^{フネロ}少^ナ縁とく
 おされびれ
 鑑^シ細^シ

(わ)

○初う不
 一りりき
 一わとの
 一わのめけき
 ○わらじき
 一わらも
 ○あふ
 一わのあふ
 ○あ
 一うらうら

ワリナク 日本記
 を別 記
 廊下
 されされあふとた
 世^ニ倍^ニを^ニり^ニと^ニく^ニの^ニき^ニ
 海の名

一かきと

くうわれと

一かうくらす

かやくはらうらと

一かうくらす

斬字しとて執を執カキと

一かうらん

榎干と

○こくま

一かきと

くたやうとて知小神と

○くくま

一かきと

垣が見とてははらうらと

一かきと

かきととらと

○かきと

一かきと

くくま

一かきと

くくまの教とらと

一かきと

くくまの教とらと

一かきと

たきまの人のいさつとらと

○まきと

一かきと

潜ノ字とわくまと

○まきと

一かきと

髪上の付らんとて

○まきと

一かきと

袷カキと

一かたさく

辞退ジタイ

一かこまり

おのそりらねやしのり

一かこりめ

そそ目

一からちろろやさき

程時チヨトキ

潮時チヨトキせしう

○あー

一かじし

困コト字ジくさひれんてらりし
りよ日知字成へ

○とほく

一かこりこやのま

唐守カウシ貌ハ姑射コトカ自ジ

一うさくさくいん

○し女

一かこい

遊藝ユゲイのり

一かこのまきやまのこ

唐カウ東トウ詩シ録ロク日本ニッポン

よもまこカ磨マれレ障サウのノとト糸イトとト紫ムラサキ白シロ地チ障サウとト京キョウ障サウ
と云

○あさく

一かんのま

内侍ウチノサヘ勢セよヨるル活カチのノこコ

一かこや

あまのアらラまマるルへヘ紙シ系ケイ

○梅くえ

一かこり

ふフくクさサくク

一かこのまきやまのこ

強ツヨクくク

一かこ

くクさサくク

○あきく

一かきく

かきく河へ遷^{ヒコ}迹^{ヒコ}けく

○わくまど

一かえん

かえん^ト朱^{ヒコ}権^{ヒコ}院^{ヒコ}ま^{ヒコ}東^{ヒコ}文^{ヒコ}の^{ヒコ}所^{ヒコ}

一かきくのさ

一かきさり

かきさりく

一かきおむり

○かきり

一かきぐ

かきり

○あつま

一かきけり

かきけり

○かきり

一かきおむり

かきおむり

○かきり

一かきす

かきす

○よ

○かき

一かきせす

かきせす

一かきおむり

かきおむり

かきおむり

○そくあ、

一うきひ

うきあひん

一うきぐ

たよりこ縁つんのせし

一うきぬ

コキス
ふきこ

一うきり

ようんしうしとを約し

○タリか

一うらびひ

いづこころはぬし

一うらがる

いづちつる
蕪生 又法 ヨシカハル

一うらぬ

うららうらぬらん

一うべ

きこのおのれのみん
はんしんのみんらりらりいん

○わりむしきん

一うらり

選 おりますんころへ
はり

一うらり

るれらんこ

○末つむ

一うらき

うらあらんうららん

○あひひ

一うらさ

世のなるこ 恐ノ字用

○あきうか

一うらぬもの

花あの子よすまきり
れりりやうとあり

○まねらん

一 ちゆらひ

於徳と幸やまらふと云ふ

一 ちやうれ

作るといふ程のくち

一 ちゆめて

由改く

一 ちゆらひ

ちゆらひと云ふ

一 ちゆらひ

およなるといふ程なるは

まつむ

一 ちやうれ

ちやうれと云ふ

一 ちやうれ

御座居つたりたどやうなる

○あつむ

一 ちゆらひ

猛勢 いろいろと云ふ

○ちやうれ

一 ちやうれ

ちやうれ

○すゆ

一 ちゆらひ

ちゆらひと云ふ

○ちやうれ

一 ちまのげん

たま監 後位下は叙せぬれハ

一 ちゆらひ

たまの監と称せり

○ちゆらひ

一 ちゆらひ

ちゆらひと云ふ

○ちゆらひ

史記

ちゆらひと云ふ

一 せんくーん あーんーん

○うーんーん

一 せんくーん かーんーん

一 せんくーん せんくーん

一 せんくーん せんくーん

一 せんくーん せんくーん

○せんくーん

一 せんくーん せんくーん

○せんくーん

一 せんくーん せんくーん

